

平成27年度

平成28年2月29日

# 学校だより



夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！  
横浜市立鴨居小学校

電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

## 卒業する子どもたちへ

校長 石原 敏宏

今、6年生が順番に校長室に来て、給食の時間に会食をしています。6年生一人ひとりと卒業前に話をするよい機会となり、この子にはこんな面があったのだなあと改めて感じることも少なくありません。また、3月には1時間ずつクラスで授業を行います。内容は校長からのメッセージ的なものになります。さて、どんな話をしようかなと考え、自分がバンコクで3年間過ごして感じたことを話すことにしました。

私は幸運なことに、30代の時にタイのバンコク日本人学校に勤務する機会を得て、家族と共にバンコクで3年間過ごしました。そこでの異文化の体験は驚きの連続でしたが素晴らしいものもありました。旅行するのと現地で生活するのでは全く違います。言語を始め、生活習慣や考え方が大きく異なる文化に戸惑いを感じながらも、タイという国での生活に慣れるにしたがって、3年間を楽しむことができました。仕事はとてもハードでしたが、仕事と余暇とのメリハリが効いた充実した3年間となり、今でもバンコクでの生活は私にも家族にも思い出深いものになっています。

海外で暮らしてみて、日本の良さも改めて感じました。四季の中で見せる美しい自然、治安やサービスの良さ、物の豊富さなど、これほど豊かで安心して生活できる国は少ないのではないかと実感しました。

日本は素晴らしい国ですが、世界に興味をもち、日本を飛び出して「世界の国々を知ってみたい、世界の中で自分を試してみたい。」という気持ちをもつことは素敵なことだと思います。そして、その国々の文化を肌で感じて、その素晴らしさを知って欲しいと思います。「住めば都」という言葉がありますが、そこが「第二の故郷」になることも多いものです。

また、異文化を経験することで、自分とは違った価値観を認められるようになって欲しいとも願っています。違うことに違和感を覚えるだけではなく、それを認め違いを楽しめるようになればいいなあと思うからです。

インターネットで世界中と繋がり、貿易も情報も人の流れもグローバルな世界となる中を、子どもたちは生きていきます。6年生には「私もいつか海外に出て見聞を広めてみたい、活躍してみたい。」という夢や、「違いを認められる心」を持ってもらえるようなメッセージを、今度の授業に込めたいと私は考えています。